

デイリー・ジーザス・ニュース #152

第六段階：イエスの後期ユダヤ教宣教

B. 仮庵の祭りにおけるイエスの宣教

ii. イエスは罪の中で死ぬことについて警告する

ヨハネ8章21-24節

21 イエスはもう一度彼らに言われた。 *「わたしは去って行く。あなたたちはわたしを捜し求めるだろう。そして、自分の罪のうちに死ぬだろう。わたしの行く所には、あなたたちは来ることができない。」*

22 このため、ユダヤ人たちは「彼は自殺するつもりなのか？それが『私の行く所に、あなたたちは来ることができない』と言っている理由なのか？」と尋ねました。

23 しかし彼は続けた。 *「あなたは下から来た者、私は上から来た者。あなたはこの世の者、私はこの世の者ではない。」* 24 *したがって、わたしは、あなたがたは自分の罪のうちに死ぬであろうと言いました。わたしがそれであると信じないなら、あなたがたは必ず自分の罪のうちに死ぬでしょう。」*

=====

注: 私たちは「混合テキスト」の原典福音書を次のように上付き文字で識別します: マタイ = ^{MT}、マーク = ^M、ルカ = ^L、ヨハネ = ^J、使徒行伝 = ^A。この「上付きID」は引用文の冒頭に挿入され、別の上付き文字が現れるまでその聖書を識別します。さらに、*赤いイタリック体はイエスの言葉を示します*。旧約聖書の引用は大文字で書かれています。

コンテキストダイジェスト	
位置	エルサレムの神殿の庭
タイムライン	9月 (31月)
イエスの生涯の文脈	第六段階：イエスの後期ユダヤ教宣教
	B. 仮庵の祭りにおけるイエスの宣教
	神殿でのイエスの2番目の教え：「私は世の光である」
タイトル	ii. イエスは罪の中で死ぬことについて警告する

コメント：

イエスとユダヤ人指導者との対話は神殿で続きました。今日の朗読には、イエスの宣教における最も重大な警告の一つが含まれています。これは特に指導者たちに与えられたものですが、世界中のすべての人に当てはまります。 *「わたしは、あなたがたは自分の罪のうちに死ぬだろうと言った。わたしがそれであると信じなければ、あなたがたは必ず自分の罪のうちに死ぬであろう。」* ヨハネ8章24節

デイリー・ジーザス・ニュース #152

「わたしは世の光である」と宣言したばかりでした。イエスは、ご自身を信じる者にとって永遠の命の源であり、与え、支えてくださる方です。これは、イエスを離れては永遠の命を得ることはできないことを意味します。イエスを拒むことは、三位一体の神のみに存在する永遠の命を拒むことです。

「**罪のうちに死ぬ**」とは、イエスを私たちの神聖な救い主、主として信じる決断をせずに死ぬことを意味します。イエスは24節で「わたしはある」という言葉を用いて、ご自身が神であり人であることを強調しました。「下から来た」、つまり人間のDNAだけを持つ私たちとは異なり、イエスは「上から来た」、つまり神の起源と存在を持っていました。イエスは神として永遠に生き、偉大な「わたしはある」、すなわちヤハウェです。

イエスを「私は在る」と信じる人は、イエスが「**世の罪を永久に消し去る神の子羊**」であり、自分自身の罪もすべて消し去ると信じます。そのような人はこの世に生き、そして死ぬ時も、赦しの状態で生きます。一方、イエスを信じない人は、自分が犯したすべての罪に対して個人的な責任を負い、この世を去り、人生における赦されていないすべての罪に対して個人的な責任を負った状態で神の御前に行きます。彼らは「**罪のうちに死ぬ**」のです。

「罪の報いは死である」ので、「罪のうちに死ぬ」人は、神に対する罪の当然の結果として、地獄での永遠の死刑を受けることは確実です。「罪のうちに死ぬ」という表現は、永遠の断罪を描写しています。それは人が経験し得る最も恐ろしいことです。

イエスは、ご自身を信じなかったユダヤ人の指導者たちに、彼らの選択がもたらす結果を愛をもって警告しました。同様に、この言葉を通して、世界中のすべての人々にも、ご自身を拒絶することの結果を真剣に考えるように警告しています。イエスは、「まだ罪の中にいる」すべての人々に対する父なる神の愛の表れとして来られました。それは、イエスを信じる道を選ぶすべての人が「地獄で永遠に滅びることなく、永遠の命を得る」ためです。

イエスを拒むという決断は、死ぬという選択であり、人生のすべての罪を背負い、罪深い罪人として神の御前に進み出て、地獄で永遠の罰を受けるという選択です。イエスを信じないという選択は、「罪の中で死ぬ」という選択です。

愛は、差し迫った危険にさらされている人々に警告を与えます。そして、彼らをその危険から救うために、できる限りのことをします。イエスはまさにすべての人のためにそうされました。今日の朗読は、まさにそのため、非常に重要なのです。

応用：

もしあなたが「まだ罪の中にいる」なら、今イエスを信じて永遠の赦しを受けることを何が妨げているのでしょうか？待つ価値はあるのでしょうか？

もしあなたが罪の赦しという無償の賜物を受けたのなら、適切な対応の一つは、今日の聖書朗読にあるイエスの警告を、それを知らない人々に伝えるために全力を尽くすことです。

デイリー・ジーザス・ニュース #152

それをやっていますか？他に何かできることはありますか？いつやる予定ですか？